

令和7年度 指定管理業務に係る総括評価実施結果（都市基盤施設）

11 富士市産業交流展示場（指定管理者：F メッセ共同事業体）

	施設所管課評価案		委員会評価		総括 評価
	コメント	評価	コメント	評価	
基本的業務 の実施状況	基本的業務の実施状況については、計画どおり実施されていると評価する。	A	施設所管課の評価は妥当である。	A	良
施設の維持 管理状況	施設の維持管理については、計画どおり実施されていると評価する。	A	施設所管課の評価は妥当である。	A	
施設 の 運 営 状 況	利用者数においては計画を上回る実績となり、利用率においては計画どおりの実績を収めた。利用料金は、催事規模が縮小し会議室の利用が中心であったため減少し目標達成に至らなかったが、小規模利用でも催事開催件数を増やす営業を行い、利用者のニーズに応じて施設の利用案内を行っている。また、3週間程度の撮影案件について打合せを進めていたが、先方の都合により直前でキャンセルとなったものの、貸館として重宝されていることが確認された。さらに利用者の意見運営を反映し、苦情や緊急時の対応も適切に行われていることから、良好に業務が実施されていると判断し、総合評価をBとした。	B	施設所管課の評価は妥当である。	B	
自主事業の 実施状況	計画通りに自主事業が実施された。 また富士のふもとの大博覧会 2025 は、富士山麓地域（富士市、裾野市、富士宮市、御殿場市、小山町）の魅力ある個店や団体を集め、食材や魅力を発信することで、地域連携による発展を目指す点が評価できる。 以上のことから自主事業の総合評価をAと判断した。	A	施設所管課の評価は妥当である。	A	

12 富士市道の駅富士川楽座（指定管理者：富士川まちづくり(株)）

	施設所管課評価案		委員会評価		総括 評価
	コメント	評価	コメント	評価	
基本的業務 の実施状況	基本的業務については、計画どおり実施されていると評価する。	A	施設所管課の評価は妥当である。	A	良
施設の維持 管理状況	施設の維持管理については、計画どおり実施されていると評価する。	A	施設所管課の評価は妥当である。	A	
施設 の 運 営 状 況	プラネタリウムわいわい劇場が目標を達成できなかったため、本来は C 評価とするところであるが、有料施設の利用者は体験館どんぶらとプラネタリウムわいわい劇場のどちらか一方のみを利用する傾向にあるため、令和7年度については体験館どんぶらの企画展が好評で、5月には1日の入場者数の過去最多を記録するほどであり、来場者数が大きく伸びた反動で、プラネタリウムわいわい劇場の来場者数が伸び悩んだ。こういった性質上、双方の合計が 75,000 人を超えることも稼働の目安だと考えており、この点については達成できている。 また、富士川楽座全体の利用者数は高い水準で微増しており、団体利用・予約件数実績や公式アプリ登録会員数の大幅な増加を踏まえると、広く利用される施設運営ができていることがうかがえる。これは利用者からの意見に真摯に向き合うとともに、常に組織一丸となって新しい取り組みを進め、緊急時への備えや突発的な修繕業務が適切になされていることの結果であると考ええる。 これらのことを総合的に評価し、「B」評価とする。	B	施設所管課の評価は妥当である。	B	
自主事業の 実施状況	有料施設の体験館どんぶら・プラネタリウムでは、四半期ごとの企画展や番組の入れ替えを継続して実施し、特に体験館どんぶらの企画展として、「忍者道場」、「木のおもちゃ展」、「どうぶつランド」、「ひかりミュージアム」と多種多様な内容で実施した結果、5月には最多入場者数を更新した。 恒例となったらくぎ花火まつりでは例年よりも多くの花火を打ち上げた。周知が進み、近隣の住民にも親しまれる名物イベントとなりつつある。 以上のように、指定管理者が主体的に企画を考え、地域住民を巻き込んだ親しみのある施設運営につながる自主事業の実施が行われていたため、「A」評価とする。	A	施設所管課の評価は妥当である。	A	

13 富士市都市公園（指定管理者：（公財）富士市振興公社）

	施設所管課評価案		委員会評価		総括 評価
	コメント	評価	コメント	評価	
基本的業務 の実施状況	基本的業務については、計画どおり実施されていると評価する。	A	施設所管課の評価は妥当である。	A	可
施設の維持 管理状況	施設の維持管理については、計画通りに実施されていると評価できる。しかし、中央公園における事故については、発見が困難な箇所ではあるが点検時に不良箇所を発見できなかったことから、点検業務をさらに徹底されたい。	B	施設所管課の評価は妥当である。	B	
施設 の 運 営 状 況	目標達成状況については、自主事業の参加者が目標 5,705 人に対し 4,997 人となり、未達の項目があったことから、本来、施設の運営状況の評価は C 評価相当である。 一方、自主事業の満足度及び公園内行為許可の使用料金については目標を達成した。特に使用料金は、キッチンカーを活用した新たなイベントの実施などの営業努力により、目標額 1,875,000 円に対し実績 2,549,150 円と、目標を大きく上回った。 なお、自主事業の参加者数については、材料費の高騰に伴う参加料金の値上げや、インフルエンザの流行による外出控えなど、外部要因の影響も認められる。 また、利用者からの意見・苦情への対応についても、適切に実施された。 以上を総合的に勘案し、施設の運営状況は B 評価とする。	B	施設所管課の評価は妥当である。	B	
自主事業の 実施状況	自主事業では、原材料費の高騰やインフルエンザの流行等の不安定な社会情勢の影響のためか参加者数は振るわなかったが、参加者に対して実施した満足度調査においてほとんどの事業で「大変よかった」「よかった」との評価が多く得られ、高い満足度を確認出来ており、継続して市民のニーズをとらえた事業を開催できている。	B	施設所管課の評価は妥当である。	B	

14 富士市新環境クリーンセンター循環啓発棟（指定管理者：(株)クリーン工房）

	施設所管課評価案		委員会評価		総括 評価
	コメント	評価	コメント	評価	
基本的業務 の実施状況	基本的業務は計画どおり実施されていると評価する。	A	施設所管課の評価は妥当である。	A	良
施設の維持 管理状況	施設の維持管理は計画どおり実施されていると評価する。	A	施設所管課の評価は妥当である。	A	
施設 の 運 営 状 況	余熱利用体験施設、修理再生施設共に大幅な利用者増を達成し、関連する全ての指標において目標値を上回った。意見や苦情への対応や緊急時対応についても適切に行われていることから、評価を「A」とした。	A	施設所管課の評価は妥当である。	A	
自主事業の 実施状況	提案事業では、食材再生室での調理講座を積極的に企画し、利用率の向上と講座の多様化を図るとともに、次世代素材CNFに関連する講座を企画するなど、参加者が楽しく環境について学べる工夫をしていた。 ボランティア養成事業では、新たに16名のボランティアが登録しており、令和7年度末で登録者数38名と、活動人数も年々増加している。 自主事業では、入館者数40万人、50万人達成記念イベントの実施や、個室の和室、キッズルームへの改良など、引き続き、利用促進を図るための事業を積極的に実施していた。 以上から、2つの施設の特性を活かし、環境に関心を持つきっかけを与える各種事業が積極的に実施されていると評価できる。	A	施設所管課の評価は妥当である。	A	

15 富士市保健休養林野田山健康緑地公園（富士川キャンプ場）（指定管理者：(株)白糸植物園）

	施設所管課評価案		委員会評価		総括 評価
	コメント	評価	コメント	評価	
基本的業務 の実施状況	基本的業務については、計画どおり実施されていると評価する。	A	施設所管課の評価は妥当である。	A	良
施設の維持 管理状況	施設の維持管理については、計画どおり実施されていると評価する。	A	施設所管課の評価は妥当である。	A	
施設 の 運 営 状 況	利用者数及び利用料金収入の項目については、いずれも目標値を上回る実績となった。また、利用者サービスの向上や安全確保に努める等、施設の管理運営についても適切に実施されており、指定管理者による良好な施設運営が行われていると認められる。	A	施設所管課の評価は妥当である。	A	
自主事業の 実施状況	自主事業としてキャンプ用品や食料品等の販売を実施し、利用者の利便性向上及びサービス向上に努めていた。 また、オリジナルグッズや地域資源を活用した商品の販売を行うなど、施設の魅力向上にも取り組んでおり評価できる。	A	施設所管課の評価は妥当である。	A	